

令和7年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名: 北薩地域振興局農林水産部農政普及課

課題名①	地域農業を支える担い手の確保・育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等	
		適当	概ね 適当	要 改善			
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	5			・地域の最も大きな課題に積極的に取り組んでおり 適当である ・新規就農者の充実、担い手確保を十分お願いしま す	・継続して課題に取り組む	
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地 区)の選定は適切であるか	4	1		・経営管理を考慮され、適当な対象を選定している ・農業者選定は一段と後押しして頂きたい	・関係機関団体と連携して対象選定を 行っていきたい	
活動体制・ 活動方法	③関係機関とうまく連携して活動 しているか	5			・関係機関との連携がなされている ・各関係機関との連携がされて効果がある	・継続して課題に取り組む	
	④活動(活動方法、時期、手段)は 適切であるか	3	2				
	⑤専門的な技術・情報を活用して 効果的な活動が行われているか	4	1				
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や 成長に効果が上がったか	4	1		・部門や各種団体の総会、研修会等で農業青年のブ ロジェクト発表を取り入れたら、本人や聞いている 青年の成長の一助になると思う	・他青年の意識づけや普及活動のPR の意味においても、発表の機会を設け るようにしていきたい	
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者、地域へ の波及性があるか	3	2		・具体的な課題解決に取り組まれており、今後の波 及に期待したい ・反省点もよく話し合いされていると思いました	・継続して課題に取り組む	
	⑧結果が十分でないものは今後 の対策が考えられているか	4	1				

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 北薩地域振興局農林水産部農政普及課

課題名①	地域農業を支える担い手の確保・育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等	
		適当	概ね 適当	要 改善			
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	5			・担い手確保は地域にとっては重要なことである。将来を見据えて指導を願いたい	・将来の地域営農を下支えするためにも新規就農者の定着支援に引き続き取り組む	
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	5					
活動体制・活動 方法	③関係機関と連携して活動しているか	5			・法人化に向けた取組を関係機関と一緒にお願いしたい	・法人化は家族の合意や関係機関・団体との情報共有が重要なので慎重に取り組んでいく	
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	5					
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	4	1				
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	4	1		・今後も担い手への支援をお願いしたい ・経営の安定、所得拡大に向け今後も支援をお願いしたい	・将来の地域営農を下支えするために経営改善指導に引き続き取り組む	
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	2	3				
活動の 波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	2	3		・担い手が減少する中、指導対象者が周りの農業者等へ波及する効果を期待したい	・各種会合等を通じて成果のあった事例等のPRにつとめていきたい	
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	3	2				

地域農業を支える担い手の確保・育成

1 対象

認定農業者等（集落営農組織含む）、新規就農者・青年農業者、女性農業者

2 課題を取り上げた背景・ねらい

地域における認定農業者数は、高齢化や後継者不在による離農や、目標所得達成の見通しが立たないなどの要因から、年々減少傾向にある。

地域農業を支える担い手の確保・育成の観点から、担い手の経営発展支援、新規就農者の定着支援、また女性農業者の活動支援を通じて経営改善を行う必要がある。

一方、認定農業者に占める法人の割合は増加傾向にあり、法人化は経営基盤を強固にするための一手段であることから、関係機関・団体と連携し支援する必要がある。

3 活動の内容及び成果（令和7年度）

(1) 担い手の経営発展支援

- ・経営管理能力向上支援：重点支援対象14戸の経営分析を実施し、経営分析に基づいて経営改善指導及び栽培技術管理指導を実施
- ・法人化支援：税理士や社会保険労務士等スペシャリストと連携し、個別相談会を実施
- ・簿記記帳研修会：正確な簿記記帳による経営分析を実施

(2) 新規就農者の定着支援

- ・ニューファーマー営農塾：土壌肥料、病虫害防除、農業機械、農業経営基礎の座学研修を実施
- ・部門別研修会：作物、野菜、果樹、花き、茶、畜産ごとに現地検討や視察研修を実施

(3) 女性農業者の活動支援

- ・さつまファームレディ倶楽部の活動（現地交流会、わくわく集会、先進地視察、食育研修）支援
- ・活動を通じて農業女性の経営への参画を促し、農業経営向上を目指す。

4 残された課題

指導農業士会、関係機関・団体、農業経営スペシャリストと連携し、「就農」から「地域を担う経営体」に至るまで、キメ細やかな支援体制のしくみ作りを構築し、引き続き担い手の確保・育成を図る必要がある。

5 取り組んだ普及員

西原、前田、宮内、和田



認定農業者数の推移（薩摩川内市）



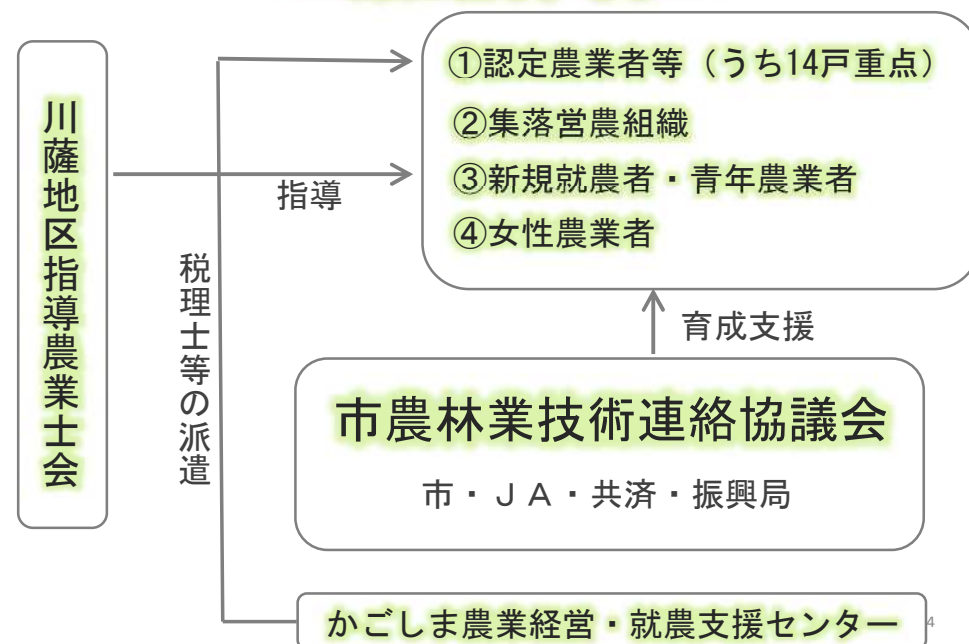
課題

地域農業を支える担い手確保・育成

対象

- ①認定農業者167人（うち重点支援14）
- ②新規就農者及び青年農業者24人
- ③女性農業者48人

活動体制



活動方法

- ①「担い手の経営発展」支援
- ②「新規就農者の定着」支援
- ③「女性農業者の活動」支援

活動目標

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に掲げる農業所得の達成

5

担い手の経営発展支援

関係機関と連携し担い手育成対策を協議



経営管理能力向上支援

- ・重点支援対象14戸の経営分析を実施
- ・経営分析に基づいて「経営改善指導」及び「栽培技術管理指導」を実施



7

経営管理能力向上支援



- トマト農家経営分析検討 -

- ✓ 前年度生産販売実績の反省
- ✓ 次年度対策の検討

前年度生産販売実績の反省 次年度対策の検討

項目	R 6 ～ R 7 期の反省	R 7 ～ R 8 期の対応
規模・単収・単価	規模拡大（12a→20a） 単収12t/10a, 単価326円/kg	規模20a 単収16t/10a, 単価300円/kg
土壌管理	土壌還元消毒を実施し継続	継続予定
労力・作業	誘引遅れ・収穫遅れ	早目の作業着手 株間を50cm→60cm、新品種比較試験
病害虫	うどんこ病に苦慮	こまめに観察し早目の対応
ハウス環境	ハウス内温度差5度	暖房機メンテ・ダクト調整
販路	J A のみ	規格外は加工業者に出荷
資金・経営	JA資金返済開始	新規認定農業者申請予定

10

経営管理能力向上支援



- 法人化個別検討会の実施 -

- ✓ 税理士を派遣による関係機関団体と連携した法人化支援
- ✓ R7は3人の農家に対し個別相談会を実施、
うち1人はR8に法人化予定

経営管理能力向上支援



- 簿記記帳研修会の実施 -

- ✓ 新規就農者のみ → 基礎研修を3回実施
- ✓ 以降、記帳研修会を8回実施

12

新規就農者の定着支援

13

新規就農者の定着支援



- 新規就農者を励ます会 -

- ✓ 毎年開催
- ✓ R7対象は薩摩川内市1名、さつま町4名
- ✓ 先輩農業者や関係機関・団体と顔合せの場

新規就農者の定着支援



- ニューファーマー営農塾の実施 -

- ✓ 対象 → 新規就農者を励ます会
- ✓ 土壌肥料、病虫害防除、農業機械、農業経営基礎について座学研修

新規就農者の定着支援



- 部門別研修会の実施 -

- ✓ 作物、野菜、果樹、花き、茶、畜産毎に実施
- ✓ 各部門毎に、指導農業士会、関係機関団体と年間を通じて現地検討や視察研修を実施

新規就農者の定着支援

指導農業士会と連携

部門	時期	参加人数	場所	内容
作物	8/25	31名 (青5)(指2)	さつま町 薩摩川内市 現地	・「あきの舞」栽植密度検討、KSAS実証、低コスト肥料実証
作物	12/9	42名 (青8)(指2)	薩摩川内市 農業公社	・「あきの舞」イネリッチ実証、自動操舵システム評価、ザルビオ実証検討
露地野菜	11/11	13名 (青3)(指2)	さつま町 薩摩川内市 現地	・露地野菜複合品目の考え方、労力確保及び機械化の検討、除草対策
施設野菜	12/11	18名 (青5)(指3)	指導農業士ほ場 薩摩川内市	・トマト:草勢診断方法、液肥の目安、温度管理 ・いちご:育苗時期の追肥、草勢管理
茶	9/11	19名 (青12)(指3)	さつま町 薩摩川内市 現地	・茶園管理及び茶園仕立ての検討、除草機の実演及び意見交換
果樹	8/26	10名 (青4)(指3)	さつま町 薩摩川内市 現地	・ぶどう:栽培管理技術及び販路拡大の検討 ・ナシ:栽培技術管理の検討
花き	9/25	6名 (青3)(指2)	㈱エルム 視察	・㈱エルムの農業関連事業(LED照明)視察研修 ・コンテナ型栽培システム、花き生育コントロール等検討
畜産	7/16	23名 (青9)(指4)	薩摩川内市 現地	・基礎技術(飼料作物栽培技術、子牛飼養管理)指導
畜産	9/30	18名 (青5)(指2)	さつま町 現地	・ドローンによる水稲立毛中の寒地型牧草播種の実演及び検討
畜産	12/17	11名 (青5)(指1)	薩摩川内市	・室内検討(子牛発育調査結果の共有、相互検討、情報提供)

新規就農者の定着支援

	年齢	部門	農業青年プロジェクト名
K氏	22	野菜	ゴボウでの取組
N氏	28	肉用牛	子牛飼料給与マニュアル実践による発育改善
法人		肉用牛	子牛発育と飼料給与について(マニュアル給与)
N氏	41	野菜	法人化による経営基盤確立
S氏	37	野菜	収入目標の達成
N氏	38	作物	栽植密度比較 ※R7農業青年プロジェクト発表 R8青年農業士取得
M氏	33	作物	効果的な除草体系 他
K氏	23	作物	水稲管理の記録
Y氏	24	作物	土壌改良資材効果、排水対策
K氏	35	作物	なつほのか肥料比較
N氏	28	果樹	ぶどうで課題設定
S氏	56	果樹	ぶどうジベレリン処理
S氏	43	野菜	ゴボウの鎮圧による出芽率向上
I氏	31	野菜	施肥効果比較、マルチ張り時期の検討

新規就農者の定着支援



- 部門別研修会の実施 -

✓12月11日 施設園芸部門の指導農業士による現地指導

新規就農者の定着支援

農業青年プロジェクトの発表

- ✓課題名
コスパ良く稼ぐ米作り
低コストな水稲疎植
栽培の実証
- ✓疎植でも収量の上がる
作付け体系を実証
- ✓R8青年農業士取得予定



女性農業者の活動支援

21

女性農業者の活動支援

- 研修会・交流会の開催支援 -

- ✓ 農業女性の資質向上を図るため、研修会・交流会を開催
- ✓ 会を通じて農業女性の経営への参画を促し、農業経営向上を目指す。

22

女性農業者の活動支援



活動の成果

- ✓ 14戸の経営分析を行い技術・経営管理能力が向上した。
- ✓ 3戸の法人化支援を行い、1戸はR8に設立予定
- ✓ 指導農業士会と連携し、ニューファーマー営農塾を開催。部門別研修を実施。
- ✓ 農業青年プロジェクトを発表し、R8に青年農業士取得予定

今後の支援

指導農業士会、関係機関・団体，専門
家と連携しながら支援

残された課題

「就農」から「地域を担う経営体」に
至るまで， キメ細やかな支援体制の
しくみ作りが必要

25